

～読んでみない？こんな本～

## アンガスとあひる

マージョリー・フラック さく・え 福音館書店



アンガスはスコッチ・テリアという種類の子犬です。アンガスは見るもの嗅ぐもの、何でも知りたがりでしたが、首輪につながっているひものせいで、よく調べられません。ある日、家のドアが開いていたので、ひもにもつながっていないアンガスは外へ飛び出します。いつも生垣の向こうから聞こえてくる、やかましい音の正体を確かめに行ったのですが…。

アンガスは子犬ですが、これを読む小さな子たちはきっと自分の事のように感じてしまうでしょう。自分の知っているいつもの場所での新しい発見にどきどきし、知恵を使ってみるものの、失敗してちょっとピンチになってしまうアンガスの冒険は、幼い子の日常にも当てはまります。アンガスのやんちゃそうな様子ばかりでなく、清水を気持ち良さそうに飲む場面では、木漏れ日がきらきら輝き、ゆっくりと静かな時間が流れるようすが感じ取れます。何もないけど印象に残る本のように、日本で発売されてから、30年以上経ちますが、ずっと読み告がれている絵本です。図書館では、お話を楽しみ始めた幼い子達に紹介しています。他にも「アンガスとねこ」「まいごのアンガス」があります。